

音楽 I レポート		西洋音楽史 (ロマン派～20 世紀の音楽、 20 世紀以降の音楽)		教科書 『高校生の音楽 I』		P.140 西洋音楽史 ロマン派～ 20 世紀の音楽 P.142 西洋音楽史 20 世紀以降の音楽	
提出日	月 日	氏名		得点		評価	

① 「西洋音楽史」の「ロマン派～20 世紀の音楽」(教 P.140) について、次の問いに答えよう。

1) 次の文章を完成させよう。[知]

(各 2 点=12 点)

19 世紀の後半には、度重なる (ア) や複雑な和音によって、従来の (イ) や短調には表現できなかった、より深遠な感情が表現されるようになった。R.シュトラウスの作品などにその顕著な傾向がみられる。彼は、斬新で (ウ) な手法を用いて多くの作品を残した。

20 世紀初頭には、主音や調を感じさせない「(エ) の音楽」が登場する。シェーンベルクは、オクターヴ内の (オ) 全てを均等に用いて基本の (カ) をつくり、それをさまざまに展開する「(オ) 技法」を確立して、以降の音楽に大きな影響を与えた。

ア
イ
ウ
エ
オ
カ

(各 2 点=12 点)

2) ア～クの説明に当てはまるものを①～④から選ぼう。[知]

- ①印象主義 ②表現主義 ③原始主義 ④新古典主義

ア ストラヴィンスキーは、生命の原始的な力強さを感じさせるバレエ音楽をつかった。

イ C.モネの絵画『印象・日の出』が名称の由来となっている。

ウ バロックや古典派の時代に好まれたジャンルが再び注目された。

エ 増減音程などを用いた不安定な旋律、鋭い響き、極端な強弱表現が特徴である。

オ 美術界の「野獣派」から影響を受けている。

カ ドビュッシーのような作曲表現の傾向はラヴェルにもみられる。

ア
イ
ウ
エ
オ
カ

② 教科書 P.141 に掲載されている 3 曲から 1 曲を選んで、曲の説明や譜例などを参考しながら音楽を聴き、感じたことや考えたことを書こう。[主/思・判・表]

(10 点)

曲名：	作曲者名：

③ 「西洋音楽史」の「20 世紀以降の音楽」(教 P.142) について、次の問いに答えよう。

1) 次の文章を完成させよう。[知]

(各 2 点=10 点)

1950 年代、ケージは「(ア) の音楽」や「不確定性の音楽」をつかった。1960 年代には、ライリーやライヒに代表される作曲家が、「(イ)」の作品を生み出した。また、これまで用いられなかった音素材を用いた作品をつくる作曲家が現れ、「ミュージック・(ウ)」、「(エ)・ピアノ」「トーン・(オ)」の手法が用いられた。

ア
イ
ウ
エ
オ

2) 説明として正しいものには空欄に○を、間違っているものにはその箇所に下線を引き正しい答えを空欄に記入しよう。[知]

(各 2 点=12 点)

- ア 1980 年代の調性の分かりやすい旋律への回帰を試みる動きを新古典主義という。
- イ スペクトル楽派の作曲家は、音響現象の波長分布に注目して音楽作品をつかった。
- ウ シューファーはサウンドスケープを提唱し、音楽教育の刷新にも注力した。
- エ 滝 廉太郎は、日本初の常設オーケストラの設立などに尽力した。
- オ 宮城道雄は、箏曲の様式に民族音楽の手法を取り入れた。
- カ 武満 徹は、琵琶と尺八の独奏を含む作品《ノヴェンバー・ステップス》を作曲した。

ア
イ
ウ
エ
オ
カ

演奏したら○で囲もう。(4 点)

④ 《4 分 33 秒》を演奏しよう。

- 1) 《4 分 33 秒》(教 P.143) を読み、自分がピアニストで舞台上にピアノがあることを想定しながら、《4 分 33 秒》を演奏しよう。[主]
- 2) 演奏者や聴衆の立場から、感じたことや考えたことを書こう。[主/思・判・表]

(10 点)

1)	演奏
----	----

⑤ オペラ《夕鶴》(教 P.143) について、次の問いに答えよう。

- 1) 作品や作曲者について、説明として正しいものを次のなかから 2 つ選ぼう。[知]

- ア 團 伊玖磨は、童話《ぞうさん》の作曲者である。
- イ 團 伊玖磨のオペラは《夕鶴》1 作のみである。
- ウ 戯曲の付随音楽としてつくられ、その後交響曲として生まれ変わった。
- エ 台本は、昔話『鶴の恩返し』などを素材とした戯曲『夕鶴』である。

(各 2 点=4 点)

--	--

- 2) 日本語によるオペラの演奏を聴いて、感じたことや考えたことを書こう。[主/思・判・表]

(10 点)

--

⑥ 《シンフォニア・タブカーラ》(教 P.143) について、次の問いに答えよう。

- 1) 作品や作曲者について、次の文章を完成させよう。[知]

(各 2 点=6 点)

伊福部 昭は、北海道生まれの作曲家で、(ア) の音楽や日本の伝統音楽から影響を受け、生命力あふれる力強い作品を多数残した。映画『(イ)』シリーズをはじめとするさまざまな映画音楽も担当している。曲名の「タブカーラ」とは (ア) の男性の (ウ) の一種である。

ア
イ
ウ

- 2) 《シンフォニア・タブカーラ》を聴いて、感じたことや考えたことを書こう。[主/思・判・表]

(10 点)

--